

報道提供：5月20日（月）10：00

学 校 指 導 課	
担 当 中 田	
内 線	5 5 7 9
直 通	225-1826

## 2024年度『石川県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン』について

### 1 目 的

（公財）日本ユニセフ協会が、ユニセフキャラバンを全国に派遣し、当該都道府県庁及び都道府県教育委員会の協力を得て、知事及び教育長への表敬訪問、指導主事対象のユニセフ学習会や、学校訪問などのキャンペーンを行い、開発途上国の子どもがおかれている現状に対する理解を促進するとともに、ユニセフへの支援及び国際協力へ参加を呼びかける。

### 2 主 催 公益財団法人 日本ユニセフ協会

### 3 日 程

5月27日（月）	10:30－10:50	記者会見	於：文教記者室
	11:00－11:15	知事とのメッセージ交換	於：知事室
	13:00－13:15	教育長とのメッセージ交換	於：教育委員会室
	14:00－16:30	ユニセフ学習会	於：1階101会議室
			指導主事等約30名参加予定
5月28日（火）	10:30－11:15	野々市市立館野小学校 訪問	
		4年生 55名参加	於：体育館
	14:45－15:30	石川県立金沢西高等学校 訪問	
		2年生 356名参加	於：大講義室

### 4 内 容

- メッセージ交換  
ユニセフ協会会長からのメッセージと知事、教育長からのメッセージの交換
- 記者会見  
キャラバンの趣旨説明
- ユニセフ学習会  
ユニセフの活動の説明、ワークショップ など
- 学校訪問  
ユニセフの活動と世界の子どもたちの状況の説明、体験コーナー など

### 5 訪問者

ユニセフキャラバンスタッフ

遠藤 剛	（公益財団法人 日本ユニセフ協会	事務局長）	
金子 雅彦	（公益財団法人 日本ユニセフ協会	学校事業部	部長）
高円 承子	（公益財団法人 日本ユニセフ協会	学校事業部	マネージャー）

報道各位

プレスリリース

配信日：2024年5月20日

発信元：（公財）日本ユニセフ協会



## 子どもの権利の実現とSDGsへの取り組みを呼びかける ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 石川県で開催（5年ぶり11回目）

5月27日（月）知事・教育長とメッセージ交換  
「子どもの権利条約」を学ぶ指導主事向け「ユニセフ学習会」開催  
28日（火）野々市市・金沢市内の学校で「ユニセフ教室」実施

公益財団法人 日本ユニセフ協会〔東京都港区 会長：高須幸雄〕は、石川県で5年ぶり11回目となる「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を、5月27日（月）・28日（火）に開催します。

「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」は、日本の子どもたちに世界の子どもたちの現状やユニセフ（国際連合児童基金）の活動を伝えるために、1979年の『国際児童年』を記念してスタート。毎年、全国の11～12ほどの道府県を訪問し、石川県への訪問は、1982年、1989年、1993年、1996年、1999年、2003年、2007年、2011年、2015年、2019年に続き、今回で11回目となります。

5月27日（月）午前、県庁にて馳浩知事ならびに北野喜樹教育長を訪問してメッセージ交換を行い、県内のみなさまからのユニセフへのご支援への感謝をお伝えするとともに、世界の子どもたちが置かれている厳しい状況への理解を広め、持続可能な世界の実現を目指し、さらなる連携とお力添えをお願いする予定です。

同日午後には、指導主事のみなさまを対象とした「ユニセフ学習会」を開催いたします。学習会では世界の子どものたちを取り巻く現状やユニセフの活動について学び、またSDGs（持続可能な開発目標）や「子どもの権利条約」について、グループワークを交えながら子どもたちにどう伝え活用していくかを考えます。

2024年は「子どもの権利条約」が採択されてから35年、日本が同条約を批准してから30年の節目の年です。こども基本法の成立やこども大綱の閣議決定などを背景に、「子どもの声を聴くこと」や「子どもの視点に立つこと」、「子どものウェルビーイング」への関心が高まる中、メッセージ交換や「ユニセフ学習会」を通じて、教育行政や県内の教育現場でも「子どもの権利」を大切にしたい教育が推進されるよう、呼びかけます。

翌28日（火）には、午前野々市市立館野小学校、午後石川県立金沢西高等学校を訪問し、「ユニセフ教室」を実施。紛争や気候変動を中心に、子どもたちが直面している世界の課題について写真や映像を用いて紹介します。水道が普及していないネパールの農村で、子どもたちが家族のための水汲みに使っている真鍮製の水がめ（水を入れると約15kg）や、マラリア予防のための蚊帳など、世界各地で実際に使われている支援物資などの実物も紹介、身近に世界の課題について考えます。また、「子どもの権利条約」やSDGsにも触れながら、私たちが目指していくこれからの世界について考え、一人一人が変化を生み出す主役として一歩を踏み出すことを呼びかけます。（裏面につづく）

月日	時間	行事	ご取材の可否
5月27日 (月)	10:30～ 10:50	記者ブリーフィング 会場：文教記者室（行政庁舎 17 階）	取材可
	11:00～ 11:15	馳 浩 知事 とのメッセージ交換 会場：知事室（行政庁舎 4 階）	
	13:00～ 13:15	北野 喜樹 教育長 とのメッセージ交換 会場：教育委員会室（行政庁舎 17 階）	
	14:00～ 16:30	ユニセフ学習会 指導主事約 30 名参加予定 会場：行政庁舎 1 階 101 会議室	取材可
5月28日 (火)	10:30～ 11:15	ユニセフ教室 野々市市立館野小学校（会場：体育館） 参加学年：4 年生（55 名）	取材可
	14:45～ 15:30	ユニセフ教室 石川県立金沢西高等学校（会場：大講義室） 参加学年：2 年生（356 名）	取材可

※ 学校への取材時は必ず事前に学校にご連絡のうえ、学校の指示に従ってご取材ください。

お問い合わせ先：（公財）日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL：03-5789-2014 / E-mail：[se-jcu@unicef.or.jp](mailto:se-jcu@unicef.or.jp) 担当：高円・金子

\* \* \*

#### ■ ユニセフについて

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在約 190 の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念を様々な形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。ユニセフの活動資金は、すべて個人・企業・団体・学校からの民間募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています。

（[www.unicef.org](http://www.unicef.org)）

※ユニセフ国内委員会（ユニセフ協会）が活動する 33 の国と地域を含みます

#### ■ 日本ユニセフ協会について

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、33 の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、政策提言（アドボカシー）を担っています。（[www.unicef.or.jp](http://www.unicef.or.jp)）